

航空機体験搭乗

出雲

発行所 出雲駐屯地
広報室



出雲駐屯地は、5月14日(日)に第13飛行隊(防府)の支援を受け、部外協力者、隊員家族等24名に対する平成29年度「航空機体験搭乗」を行った。

参加者はフライトに先立ち、パイロットによる安全教育を受講した後、待望のフライトに臨んだ。爽やかな五月晴れの空の下、UH-1の低いローター音が駐屯地グラウンドに響き渡り、1組目のフライトが開始された。

各組は駐屯地グラウンドを離陸した後、出雲大社、稲

佐の浜、神戸川、神西湖など豊かな郷土の景観を上空から約15分間楽しんだ。

いずれの搭乗者も「私たちの住む出雲は自然豊かな所だと改めて実感し、この出雲で生活できることに感謝したい。」「ヘリコプターには初めて乗り、パイロットの方の操縦がとても上手で振動も少なく快適で感動しました。」等の感想を述べ上機嫌であった。

航空機体験搭乗を通じ、自衛隊及び駐屯地に対する理解と親近感を深めさせ、防衛基盤の拡充・発展を図ることができた。



▼UH-1に乗るの込む参加者



▼パイロットの機



▼隊員と記念撮影する関係者家族

出雲駐屯地業務隊 南海レスキュー訓練参加！

出雲駐屯地業務隊（隊長・俵2佐）は、6月20日から26日の間、南海レスキュー29に参加するとともに、出雲駐屯地所在地との協同訓練及び自衛隊協力団体との模擬訓練を実施し、震災対応の行動を演練した。

実動訓練では、徳島駐屯地業務隊への派遣要員の派遣準備・緊急登庁支援施設の開設、協同訓練では、災害派遣部隊への非常用糧食及びミネラルウォーター等の交付、協力団体との模擬訓練では、N-TT回線を利用しての安否確認訓練を実施した。

実動訓練に参加した技官は「震災対応の重要性がよく分かりました。また、自衛官が即応態勢を常に整えている意味が実感できた。来年度も積極的に参加し、いざという時に備えたい。」と感想を述べた。

出雲駐屯地業務隊は、「今後も様々な場面で震災対応能力を向上させ実効性ある支援態勢を強化する。」としている。



▲ 非常用糧食の交付



▲ 緊急登庁支援施設の開設



▲ 行動命令の下達



▲ 協力団体との安否確認訓練



▲ 非常用電源の稼働



▲ 派遣要員の隊容検査

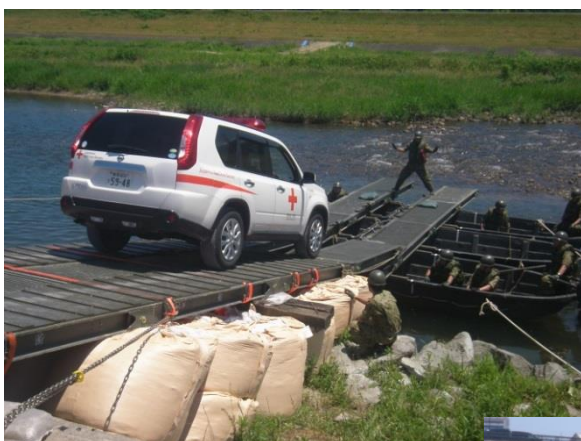
第304施設隊 平成29年度天神川総合水防演習参加！

第304施設隊（隊長・石川2佐）は、5月28日（日）平成29年度天神川総合水防演習に第13旅団第8普通科連隊とともに参加した。

「洪水（みず）から守ろう みんなの地域」をスローガンに掲げ、国土交通省中国地方整備局、鳥取県及び天神川水系の1市4町が主催して、関係機関、30団体、地域住民を含めた約1,400人が参加し、防災行動計画の共通の時間軸（タイムライン）に沿った実践的な演習が行われた。

施設隊は、大型台風の影響で橋梁が流失した想定のもと、渡河交通小隊をもって中国地方整備局と協同して軽門橋3舟4導板を構築し、日本赤十字社の「献血血液輸送車」を安全に渡河させた。

本演習を通じ、防災機関同士の連携を確認するとともに、県民の安心・安全意識の醸成に貢献することができた。



◀ 赤十字社車両の乗船



▶ 軽門橋による赤十字社車両の機航

第13偵察隊 浜田市防災訓練参加！



▲ 装備品展示



▲ 訓練開始式



▲ 偵察活動中の各車両 ▲



出雲駐屯地は6月11日に島根県浜田市瀬戸ヶ島町で行われた浜田市総合防災訓練に参加した。訓練は大地震発生想定で自衛隊のほか、警察、消防など関係機関17団体が参加して行われた。

自衛隊の任務は災害発生時の道路偵察であり、第13偵察隊の軽装甲機動車及び偵察用オートバイで被災地域までの道路状況を災害対策本部に報告しつつ偵察活動を行った。

訓練終了後は各機関の装備品展示が行われ、参加者は各機関の特性等の理解を深められた。本訓練を通じ、防災各機関の連携を確認し、さらに市民の防災意識の高揚に寄与する事ができた。

飛行隊との協同訓練に参加して

第13偵察隊 3等陸曹 藤尾 相享

私は4月24、26日までの間、駐屯地で実施された13飛行隊との協同訓練に参加しました。

最初の2日間は訓練用ヘリコプターを使用したオートバイ搭載・卸下の事前訓練を行い、1個組2名の計4個組のローテーションで1回行うごとに研究会を行う方式でした。事前に担当教官より訓練資料を配布された事もあり、訓練前からイメージアップができ、スムーズに訓練に入ることができました。

訓練では個々の技術を向上させるだけでなく、バディとの連携要領や搭載・卸下の速度向上及び安全確保な動作を何度も練成しました。訓練未経験の隊員と経験のある隊員をバディとすることで、搭載・卸下のオートバイの位置や固定具の締め方のコツなどの申し送りが見えやすくなり、回数をこなすことにもみるみる向上が見られました。研究会では良好点・改善点はもちろん、他組の動作を研究し、じ後に反映させた点は助教の私も良い刺激になりました。

最終日は実機を使用した訓練でしたが、その場面でも速度・連携・誘導要領など、訓練中にどんどん練度が向上しているのがよく分かり、じ後の訓練への反映点や訓練資料の改善、後輩育成など大きな成果をあげることができたと感じています。

3日間の訓練には助教での参加でしたが様々なことを勉強し、良い教訓を得ることができました。



▶ ヘリ誘導する隊員



▶ 連携してオートバイ卸下

陸曹候補生課程教育を終了して

第13後方支援隊 第2整備中隊 偵察直接支援小隊

3等陸曹 有田 響太

私は平成19年入隊し、14後支2整中で装輪車整備手として陸曹を目指し努力していましたが、21年に家庭の都合により退職しましたが、自衛隊への気持ちが捨てきれず、25年再入隊しました。

再入隊してすぐ結婚をしましたが、陸曹候補生合格までは同居せず地元高知に妻を残し、営内で候補生試験の勉強に励み、第130期陸曹候補生に合格することが出来ました。

この合格は自分ひとりで得たものではなく、小隊長以下11名の小隊長の方々に多忙な中分隊教練の列兵をしてもらう等の親身な協力のおかげで合格できたと感じております。

入校中に自分の目標とした事は基本基礎の修得でした。4曹教では陸曹として、武器学校では装輪車整備陸曹としての基本基礎を修得できたと感じています。

今年度は新隊員後期課程の助教として参加予定であり、入校中に得た基本基礎を後輩隊員に伝え、育成することに関し妥協することなく教育していきたいと思っております。

まだ陸曹に昇任していませんが、自分の背中を見てもらい自分へ続いてもらえる陸曹になりたいと思います。



平成29年度航空自衛隊美保基地航空祭を支援して

出雲駐屯地広報室長
1等陸尉 玉木 啓一

山陰地方の鳥取・島根両県には、情報本部美保通信所（鳥取県境港市）、陸上自衛隊米子駐屯地（鳥取県米子市）、航空自衛隊美保基地（鳥取県境港市）、陸上自衛隊出雲駐屯地（島根県出雲市）及び航空自衛隊高尾山分屯基地（島根県松江市）が隣接するように所在しています。

これらの部隊は、相互に連携し行事支援を行っており、出雲駐屯地が昨年実施した出雲市中パレードにおいても第13旅団地区内の陸自部隊のほか、美保基地（第3輸送航空隊）よりYS-11の観閲飛行支援を受け市民の皆様にも山陰部隊の団結をアピールできました。

広報担当者である私にとって、多くの来場者が訪れる航空自衛隊美保基地航空祭は絶好の広報の場であり、装備品展示を行う際には、以下の3つの事項について特に留意しました。

- ① 来場者の安全及び保全に留意するとともに、明るく接する。
- ② 単に見るだけでなく、触れて体験して頂く。
- ③ 出雲駐屯地の行事イベントについても広報（ポスターの掲示等）する。

5月28日（日）晴天の下に基地祭は実施され、約5万人の見学者で賑わいました。第13偵察隊の主要装備である87式偵察警戒車及びオートバイ（偵察用）に乗りこんでの記念撮影、カモフラージュペイント体験、88式鉄帽及び防弾チョッキの試着を行う等、来場者の安全に留意しつつ本物の装備品に触れ楽しんで頂きました。今後多くの方の思い出に残るよう、また支援を通じて出雲駐屯地を紹介できるように広報業務に創意をもって取り組みたいと思います。



▲ ブルーインパルスによる展示飛行



▶ 記念撮影する来場者 ▶



▲ 来場者で賑わう自衛隊島根地方協力本部ブース



▲ 航空祭会場の様子 ▲



ミサイル艇「はやぶさ」艦艇広報

出雲駐屯地は6月17日、18日の2日間、河下港（出雲市河下町）で行われた海上自衛隊ミサイル艇「はやぶさ」の広報活動と併せ、自衛隊島根地方協力本部と連携して広報活動を実施した。

梅雨時期ではあるものの、両日とも快晴に恵まれ来場者数は2日間合計で約2,600人と賑わった。

当日は船内の見学、76ミリ単装機関砲の操砲展示、海上自衛隊官によるラップ吹奏展示等が行われ、陸上自衛隊と地方協力本部ブースでは展示車両試乗、ミニ制服試着等が行われた。来場者は記念撮影を行ったり、数々の体験をして満足そうな様子であった。

2日間の支援を通して各機関との連携強化が図れ、また、来場者に対し自衛隊への理解を深めさせることができた。



▲ ミサイル艇「はやぶさ」



▲ 来場者で賑わう艦艇広報会場



▲ 隊員と記念撮影「ハイ、チーズ！」



▲ ミニ制服を着て「敬礼！」

飯南町ぼたんまつり支援

出雲駐屯地は、自衛隊島根地方協力本部の依頼を受け、5月21日(日)赤名ぼたん園及び赤名農村改善センター(飯石郡飯南町下赤名)周辺で開催された、飯南町ぼたんまつりを支援した。

会場では、実行委員長のあいさつを皮切りに、和太鼓・銭太鼓演奏、よさこい総踊り、神楽等の各イベントが催され、テント村では体験コーナー、地元料理・物産品等販売が行われ大いに賑わった。

また新庁舎前に開設された働く車展示試乗コーナーと、よさこいステージでも賑わいを見せ、来場者数約6,500人と盛況であった。

支援を通じて自衛隊への関心と理解を深めさせるとともに、真摯な報告し、防衛基盤の育成を図る事ができた。また、まつりの成功に寄与する事ができた。



▲ 来場者の絶えない会場 ▼



▲オートバイに乗りポーズを決める少年



▲いーにゃんも遊びに来てくれました～!

祝昇任

▼1等陸尉へ

中村 稔 (偵察隊)
松田 康秀 (偵察隊)

▼2等陸尉へ

三代 慎一 (偵察隊)
飯田 光 (偵察直接支援小隊)

▼陸曹長へ

廣瀬 功与 (業務隊)
佐古 浩造 (施設隊)

▼1等陸曹へ

河野 貴人 (業務隊)
森脇 信司 (第1直接支援隊)
鎌田 孝則 (偵察隊)

▼2等陸曹へ

三加茂 徹 (施設隊)
江角 健太郎 (偵察隊)

▼3等陸曹へ

有田 響太 (偵察直接支援小隊)
小川 彰太 (施設隊)
本谷 章太郎 (施設隊)
濱田 裕太 (施設隊)
若山 直樹 (偵察隊)

案内図



サマーフェスタ 2017 8月6日(日) 入場無料. イベント予定: 音楽演奏, オートバイドリル, 模擬戦闘訓練, 戦車等試乗, 油圧ショベル体験, 装備品展示, ミニ制服試着, 売店等. 陸上自衛隊出雲駐屯地

イベント情報. サマーフェスタ2017 とき 平成29年8月6日(日) ところ 陸上自衛隊出雲駐屯地. お問い合わせ 陸上自衛隊出雲駐屯地広報室 0853-21-1045. 出雲駐屯地HP